



日本協同教育学会主催

協同学習ワークショップのご案内

授業改善のキーワードは「学び合い」です。現代に求められる学力形成を図るためには、主体的で協同的な学びを教師が設計するかが問われています。

本ワークショップでは、協同学習の基礎理論と明日の授業に役立つ考え方や技法を協同学習を通して学ぶ機会です。どうぞご参加下さい。

日程：2014年11月16日（日）

9：30～16：00

会場：米子コンベンションセンター

（通称 BIG SHIP）

第五会議室

（0859-35-8111）

講師：有本高尉（日本協同教育学会認定トレーナー）

水谷 茂（元公立小学校校長）

会費：6,000 円（テキスト代含む）

定員：32 名



申し込み手続き

受付は日本協同教育学会研修部事務局として有本高尉が担当します。氏名・所属・連絡先を明記の上、下記に申し込んでください。会費は当日支払いになります。

・メール：arimototaka@md.ccnw.ne.jp

・ファックス：058-370-6690

申し込み期限 2014年11月8日（土）

（ただし、定員になりましたら締め切りします）

日本協同教育学会は、協同学習の理論と実践を深め広げる機関として 2004 年に設立された学会です。活発な研究活動は、毎年の研究大会と機関誌『協同と教育』に示されています。また、全国で協同学習のワークショップを開催し、その受講者はすでに 1,000 人を越えています。HP (<http://jasce.jp/>) もご覧下さい。協同学習実践資料なども掲載されています。

一日研修講座内容

ワークショップで学ぶ主な内容

1. 協同学習の考え方
2. 協同学習を用いた授業の留意点
3. 基本的な技法の手順と特長

ワークショップと呼ばれる学習形態にも様々なものがあります。このワークショップでは、協同学習を協同学習で学ぶようにデザインされています。

講師はインストラクターとして、あたかも授業するように指示を出します。同時に、ファシリテーターとしてグループの活動を支援します。皆さんが主役となる活動です。

理論編

協同の定義	グループ学習を協同学習に高める条件
個人思考と集団思考	話し合いの基盤となる個人考え
互恵的な関係を生み出す工夫	協同学習の大前提、参考『学習の輪』
学習活動における個人の責任	手順やルール、成果点検（振り返り）
協同と競争	望ましい競争（切磋琢磨）

技法編

お話タイム(Timed Pair Share)	ペア活動（話し手・聞き手）
リレー方式	順番に発言・順番に記入等
特派員（お出かけバス）	他グループに代表を派遣し意見交換
ジグソー法	課題別学習、仲間との交流等

協同学習を取り入れた授業づくり

授業の設計	単元計画、学習過程（参加・協同・成就）
学び合いの授業	リレー学習「算数」
	ジグソー学習「江戸幕府の政治」 「俳句に親しみを持ち作成する学習」